

令和元年度 第3回 小中一貫教育校推進委員会報告書

1 開催概要

日時：令和元年12月11日（水）18:00～19:30 / 場所：旭丘中学校

2 第3回の内容

新たな小中一貫教育校の開校に向けた今後の検討事項について

- 9年間を見越した教育活動
- 安全・安心な学校
- 防災拠点としての整備
- 施設の複合化 など

3 当日の主な意見等（まとめ）

- 学年段階の区切りの方法は様々あるが、新校にとってどういう方法が一番よいのか、よく検討してほしい。
- 5年生からの50分授業や一部教科担任制の導入については、丁寧に検討を進めてほしい。
- 小中一貫教育校としての魅力はいろいろと考えられるが、他自治体の事例も踏まえながら、学習面の取組も行ってほしい。
- 特別支援教育も含め、いろいろな個性を持った子どもたちが、お互いに理解しあえるような環境で豊かな学校生活が送れるとよい。
- 天候等の理由で水泳の授業ができない日が増えている近年の状況を踏まえ、プールの設置場所や屋根の設置等について検討をしたほうがよい。
- エレベーターやだれでもトイレの設置など、利用者の使いやすさを考えたバリアフリー化の対応をしてほしい。
- 防災備蓄倉庫を利用しやすい場所に設置してほしい。
- 児童館や地域包括支援センター等が計画されている複合施設が敷地内に入っても、体育館等も含めて子どもたちがのびのびと利用できるような学校にしてほしい。
- 複合施設について、利用者が使いやすい施設になるように場所などの検討を進めてほしい。
- ホームページを作るなど、保護者や地域に情報提供をしてほしい。